

見附特別支援学校 学校だより

見附市立見附特別支援学校
令和7年度 第6号
令和8年2月6日
新潟県見附市月見台 1-10-74
電話 (0258) 63-2210
E-mail mitsuke.tokubetsu-ss@edu-niigata.ed.jp



一步ずつ、確かな足跡を次のステージへ

特別支援教育コーディネーター 松井 弘子

立春を過ぎ、暦の上では春を迎えましたが、まだ寒さの残る日が続いています。2月は、今の中年の締めくくりと、新しい生活への準備が重なる、慌ただしくも希望に満ちた時期です。

この一年、お子さんたちのたくさんの成長に出会いました。4月は緊張した面持ちだった新入生が、今では自信をもって活動しています。授業で新しい道具を使いこなせるようになった姿、友達の変化に気づいて優しく声をかける姿、自分の気持ちを言葉やカードで伝えようとする姿、友達と折り合いをつけて遊ぶ姿、新しいことに挑戦する勇気。こうした目に見える変化はもちろんですが、「苦手なことにも一度は向き合ってみる」といった心のしなやかさが育っていることに、日々感動を覚えています。小さな「できた！」の積み重ねが、お子さんたちの確かな自信へつながっていることを実感しています。

コーディネーターとして大切にしていることは、こうしたお子さんたちの「今の輝き」を、途切れさせることなく次へつなげていくことです。現在、校内では次年度に向けた引継ぎを丁寧に進めています。それは単に情報を伝えるだけではありません。「どんな工夫があれば安心できるのか」「何に喜びを感じるのか」「何に心を動かされるのか」という、そのお子さんにしかない「安心のバトン」を大切に届ける作業です。

環境が変わる時期は、お子さんもご家族も不安を感じことがあるかもしれません。しかし、この一年で積み上げた確かな足跡は、次のステージへ踏み出す強い力になります。不安を安心に変えていけるよう、これからも学校と家庭、そして地域をむすぶ架け橋として努めてまいります。何か気になることがありましたら、いつでもお気軽にご相談ください。

学部紹介

… 小学部 …



1月日、校内書き初め大会が行われました。例年通り小倉先生から素敵な書のパフォーマンスを見せていただき、そのかっこよさにみんなが魅了されました。

すばらしいパフォーマンスのあとは、小学部の子どもたちも、思い思いにのびのびとした書を楽しみました。

筆を持って紙に向かう表情は真剣そのもの。子どもたちのきりっとした顔つきが印象に残る貴重な時間となりました。



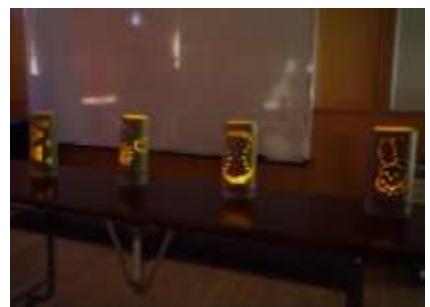


◆◆◆中学部◆◆◆

今年の実り de Art の中学部の作品は、絵手紙と竹灯籠です。

絵手紙は、割りばしに墨汁を付けて下絵を描き、それに「顔彩」と呼ばれる絵の具で色付けをしました。色を重ねたりぼかしたりして風合いのある絵手紙ができました。

竹灯籠は、竹にデザイン画を貼り、電動ドリルで穴をあけ、ヤスリで仕上げました。電動ドリルは初めて使いましたが、安全に操作して、ねらい通りの穴を開けて作品を完成させることができました。



◆◆◆高等部◆◆◆

実り de Art では、平面作品として「自画像」「自分の手」「四季～初夏と晩秋～」、立体作品として「アートフレーム」「コラージュ技法で表現」を展示しました。いずれも日頃の「美術」または「ふれる」の時間に生徒が作った力作ぞろいででした。

全体作品として、全員の平面作品のコピーを1枚にまとめたものを展示しました。全体作品は、学校展示後1月27日まで総合体育館で展示し、市民の皆様にも見ていただいた後、交流校である福岡県の大牟田特別支援学校に送りました。

